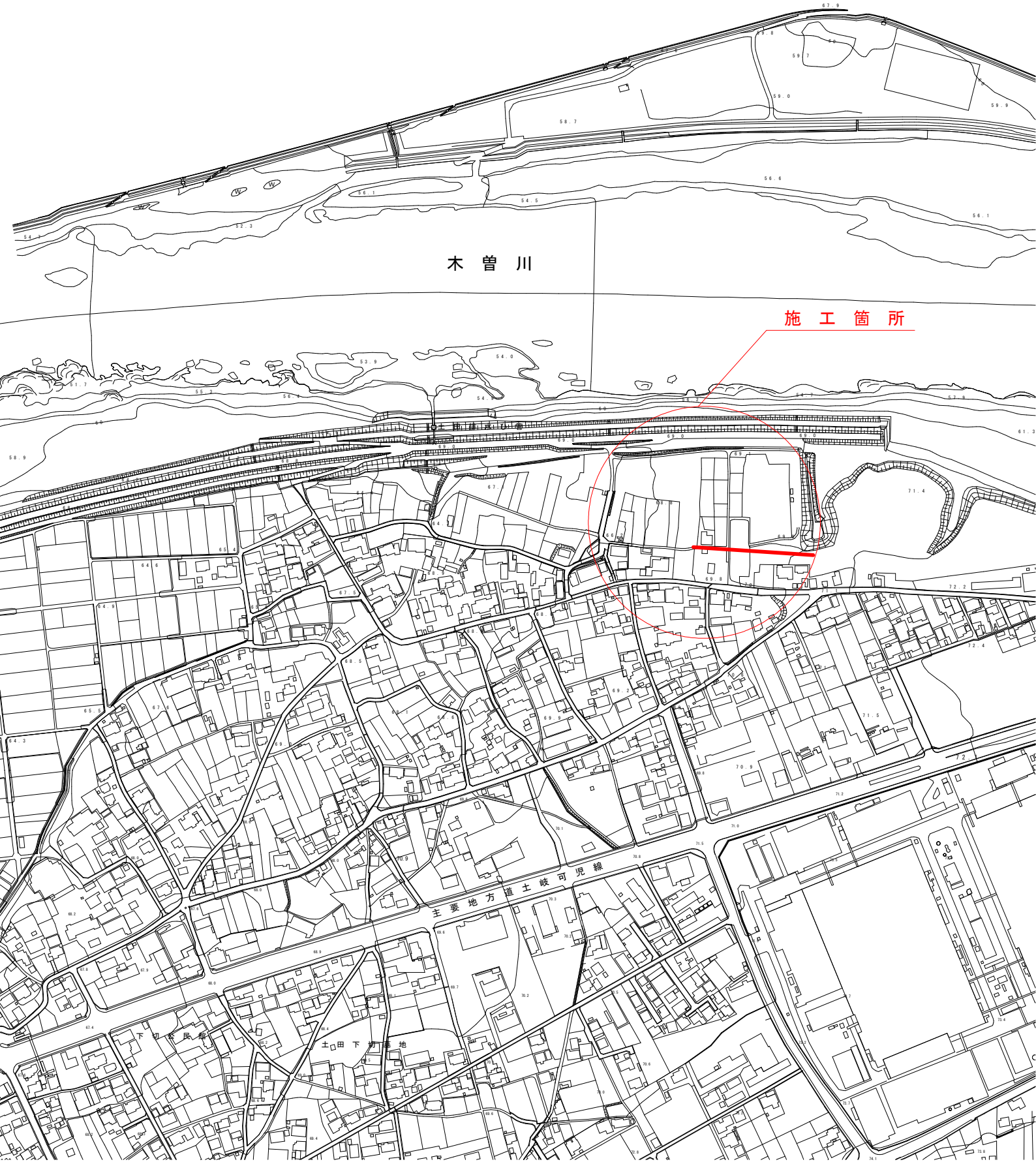
課　　長	係　　長	検　　算	設　　計

事業年度	平成 ３０ 年度
事業種別	
工事番号	下雨工-3

工事名　平成 30 年度　土田渡雨水支線整備(その２)工事

可児市 建設部 土木課

位　置　図



件　　名	平成30年度　土田渡雨水支線整備(その２)工事		
施工場所	可児市　土田地内		
金　　額	円	内消費税相当額	円

理　　由

本工事は、土田渡地内の多目的広場の工事に先駆け、雨水支線の改修を行うものである。

概　　要

土工　一式

管路工　・HPφ1000　L=127m

ﾏﾝﾎｰﾙ工　・No.3 組立3号ﾏﾝﾎｰﾙ　N=1基

　　・No.4 組立3号ﾏﾝﾎｰﾙ　N=1基

仮設工　一式

特　記　仕　様　書

１．一般事項

（１）受注者は、工事請負契約書、可児市建設工事共通仕様書及び特記仕様書に基づき施工するものとする。なお、特記仕様書は共通仕様書に優先する。

（２）受注者は、本工事が「可児市工事品質証明実施要領」の対象となる場合、要領に基づき品質の証明を実施しなければならない。

（３）受注者は、受注時、変更時、完成時の各時点において工事請負代金額が500 万円以上の工事について、工事実績情報システム（コリンズ）に基づき、受注・変更・完成・訂正時に工事実績情報として「登録のための確認のお願い」を提出し監督員の確認を受けた後に、受注時は契約後、土曜日、日曜日、祝日等を除き10 日以内に、登録内容の変更時は変更があった日から、土曜日、日曜日、祝日等を除き10 日以内に、完了時は完成後、土曜日、日曜日、祝日等を除き10 日以内に、訂正時は適宜登録機関に登録申請をしなければならない。変更登録時は、工期、技術者に変更が生じた場合に行うものとし、工事請負代金のみの変更の場合は、原則として登録を必要としない。ただし、工事請負代金500万円未満に変更する場合には変更時登録を行うものとする。なお、変更時と完成時の間が10日間に満たない場合は、変更時の提示を省略できる。

（４）提出・提示書類は別添「可児市建設工事における取扱い書類一覧表」に基づき実施するものとする。また、工事打合簿（指示、協議、承諾は除く）、材料確認簿、夜間・休日作業届けの書類を提出する場合は、所定の様式に基づき、電子メールにて提出するものとし、書面には署名または押印する必要はないものとする。これらに定めのない事項については、監督員と協議する。

（５）本工事において以下に示す建設機械を使用する場合は、「特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律（平成 27 年 6 月改正法律第 50 号)」に基づく技術基準に適合する機械、または、「排出ガス対策型建設機械の普及促進に関する規定（最終改正平成 24 年 3 月 23 日付国土交通省告示第 318 号)」もしくは「第３次排出ガス対策型建設機械指定要領（最終改定平成 23 年 7 月 13 日付国総環リ第 1 号)」に基づき指定された排出ガス対策型建設機械（以下「排出ガス対策型建設機械等」という。）を使用しなければならない。

排出ガス対策型建設機械等を使用できないことを監督員が認めた場合は、平成７年度建設技術評価制度公募課題「建設機械の排出ガス浄化装置の開発」、またはこれと同等の開発目標で実施された民間開発技術の技術審査・証明事業もしくは、建設技術審査証明事業により評価された排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用することができるが、これにより難い場合は、監督員と協議するものとする。

排出ガス対策型建設機械あるいは排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用する場合、現場代理人は施工現場において使用する建設機械の写真撮影を行い、監督員に提出するものとする。

機　　種	備　　考
一般工事用建設機械 ・バックホウ ・トラクタシャベル（車輪式） ・ブルドーザ ・発動発電機（可搬式） ・空気圧縮機（可搬式） ・油圧ユニット （以下に示す基礎工事用機械のうちベースマシンとは別に、独立したディーゼルエンジン駆動の油圧ユニットを搭載しているもの：油圧ハンマ、パイプロハンマ、油圧式鋼管圧入・引抜機、油圧式杭圧入引抜機、アースオーガ、オールケーシング掘削機、リバーサーキュレーションドリル、アースドリル、地下連続壁施工機、全回転型オールケーシング掘削機） ・ローラ類 （ロードローラ、タイヤローラ、振動ローラ） ・ホイールクレーン	ディーゼルエンジン（エンジン出力７．５ｋｗ以上２６０ｋｗ以下）を搭載した建設機械に限る。

２．産業廃棄物の適正処理について

（１）受注者は、産業廃棄物が搬出される工事にあたっては、監督員の指示に従い、産業廃棄物関連書類の提出及び確認並びに処理施設の現地確認並びに建設廃棄物処理状況の管理を行い、産業廃棄物が最終処分に至るまで適正に処理されていることを確認しなければならない。

（２）建設発生土については、工事間流用とし、流用先は監督員が指示する。都合により工事間流用ができなくなった場合は、別途協議する。ただし、建設発生土が 100m3 未満の場合はこの限りではない。また受注者の都合により処分場を変更する時は監督員に報告するものとする。

３．使用材料

（１）アスファルト再生合材について

本工事で使用するアスファルト再生合材には「ささゆりクリーンパーク溶融スラグ」を混入するものとし、使用にあたっては、「溶融スラグの土木資材への利用に関するガイドライン（可児市)」によること。

（２）コンクリート二次製品について
本工事に使用するコンクリート二次製品については、ささゆりクリーンパーク溶融スラグ混入資材を使用するものとし、施工前に溶出試験結果等の品質を証明する書類を提出し、監督員の許可を得ること。
（３）生コンクリートについて
本工事に使用する生コンクリート（均しコンクリートを除く）については、水セメント比 60%以下とし、品質を証明する書類を提出して、事前に監督員の許可を得ること。

４．工事施工について
（１）契約書 18 条第 1 項第 1 号から 5 号に係る設計図書の照査を行い、監督員の確認を受けて施工を行うこと。
（２）受注者は、工事着手に先立ち、現場付近の地元住民等に対する周知、説明、説得等を行い、トラブルの生じないよう努めること。
（３）工事による既設構造物の破損については、未然に防止するよう予め十分調査をし、また、支障を及ぼさないよう相当の防護工を施工しなければならない。なお、誤って損傷を与えた場合は、受注者の責任において復旧しなければならない。調査に際しては、記録保存の必要を認めた場合は写真撮影、測量等を行わなければならない。
（４）工事着手前に、可児市基準点（世界測地系）を用い、境界（座標）を確認すること。また、特に指示しない限り、構造物を官民境界とするため、官民境界と構造物の位置を示した図面等にて施工した構造物が民地を侵していないことを報告すること。
（５）施工区間と現道との取付については、交通の支障とならないよう充分留意すること。
（６）必要に応じ交通誘導警備員を配置し、安全を期さなければならない。また、夜間の安全確保についても十分な対策を施すこと。

５．工事保険について
本工事において、発注者、受注者及び全下請人を被保険者として、工事着手から工事目的物の引渡しまでの期間について、賠償責任保険（保険対象：第三者に与えた損害）及び工事保険（保険対象：工事目的物、工事材料及び仮設物等）に加入するものとする。

６．ワンデーレスポンスの取組について
（１）この工事は、ワンデーレスポンス実施対象工事です。
「ワンデーレスポンス」とは受注者からの質問、協議、報告、承諾願、立会願等への回答は、基本的に「その日のうち」に回答するよう対応することです。ただし、即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを受注者と協議のうえ、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうち」にすることとする。
（２）実施にあたっては、可児市工事監督におけるワンデーレスポンス実施要領に基づき実施する。
（３）受注者は工事施工中において、問題が発生した場合や計画工程と実施行程を比較照査し、差異が生じた場合は速やかに監督員へ報告すること。
（４）受注者は、施工計画書に基づいて適正な計画工程を作成し、工事の先々を予見しながら、施工するものとする。

７．電子納品について
「岐阜県電子納品要領」等に基づき、電子納品を行うこと。なお、電子納品の内容については、監督員と事前に協議し、決定すること。

８．暴力団等による不当介入における通報義務について
（１）受注者は、契約の履行に当たって、暴力団又は暴力団員等から、事実関係及び社会通念等に照らして合理的な理由が認められない不当若しくは違法な要求又は契約の適正な履行を妨げる妨害を受けたときは、警察へ通報するとともに、可児市が行う契約からの暴力団排除に関する措置要綱（平成２２年可児市訓令甲第４７号）に定める様式第９号により可児市に報告しなければならない。なお、通報・報告がない場合は、可児市建設工事請負契約に係る指名停止措置要領に基づき、指名停止等の措置を行うことがある。

（２）受注者は、暴力団又は暴力団員等による不当介入を受けたことにより、履行期間内に工事等を完了することができないときは、発注者に履行期間の延長変更を請求することができる。

９．現場代理人の兼務について

現場代理人は、工事請負契約約款第１０条第２項の規定により、契約工期内の現場常駐が義務付けられているが、契約締結後、現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間や、工事の全部の施工を一時中止している期間については、監督員との連絡体制を確保した上で、常駐義務を緩和するものとする。

また、以下の条件を全て満たす場合に、他工事の現場代理人又は専任でない主任技術者を兼務することができる。

1. 他工事は、可児市発注の建設工事で、工事現場が市内であること。
2. 他工事においても、本工事と同様に現場代理人の兼務を認めていること。
3. 兼務を行う工事の総数が、本工事を含めて３件までであること。
4. 兼務を行う工事の請負代金額の合計が２，５００万円未満であること。
5. 発注者又は監督員が求めた場合には、工事現場に速やかに向かう等の対応ができること。

なお、工事現場における運営、取締り及び権限の行使に支障がある場合、及び、発注者との連絡体制が確保されていないと監督員が認めた場合は、兼務を取り消すものとする。

現場代理人が兼務となった場合は、本工事の監督員及び他工事の監督員の双方に、現場代理人兼務届を提出しなければならない。

１０．主任技術者又は監理技術者の専任を要しない期間について

請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材搬入、仮設工事等が開始されるまでの期間）については主任技術者または監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、現場施工に着手する日については、請負契約締結後、監督職員と打ち合わせにおいて定める。

また、工事完成後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合は除く。）事務手続き、後片付け等のみが残っている期間については、主任技術者または監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、検査が終了した日は発注者が工事の完成を確認した旨、受注者に通知した日とする。

特記仕様書
（条件明示）

工事名　平成30年度　土田渡雨水支線整備(その２)工事

下記項目、事項のうちレ印該当欄は、工事施工にあたって制約等をうけることになるので明示する。
なお、明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、市と協議し適切な処置を講ずるものとする。

施工条件

明示項目		明示事項	制約条件等
工　程	☑	1．関連する別途発注工事あり	☑ A．工種（ 平成30年度　土田渡多目的広場進入路整備工事 他 ）
			☑ B．期間（ H30.9.25～未定 ）
	☐	2．他機関協議による工程条件あり	☐ A．工種（ ）
			☐ B．期間（ ～ ）
	☐	3．他機関との協議状況	☐ A．協議済機関及び内容（ ）
			☐ B．未協議機関及び内容（ ）
	☐	4．占用許可状況（ ）	☐ A．許可済
			☐ B．申請中
	☐	5．建築確認	☐ A．許可済
			☐ B．申請中
	☐	6．河川区域、保全区域内作業あり	☐ A．許可済
			☐ B．申請中
	☐	7．文化財協議（教育文化財課）	☐ A．協議済内容（ ）
			☐ B．未協議内容（ ）
	☐	8．その他	☐ A．その他（ ）
用　地	☐	1．用地補償物件撤去まで着工制限あり	☐ A．区間（NO ～NO. ）
			☐ B．着工見込時期（ ）
			☐ C．内容（ ）
	☐	2．工事用地の未買収	☐ A．場所（ ）
			☐ B．処理の見込み時期 ）
			☐ C．未買収地への立ち入り可否 ）
	☐	3．仮設ヤードの有無	☐ A．官有地
			☐ B．民有地
			☐ C．その他（ ）
			☐ D．別途協議
	☐	4．その他	☐ A．その他（ ）
公害対策	☐	1．施工方法の制限あり	☐ A．騒音（ ）
			☐ B．振動（ ）
			☐ C．水質（ ）
			☐ D．その他（ ）
	☐	2．事業損失防止に関する調査あり	☐ A．調査の項目（ ）
	☐	3．環境影響調査あり	☐ A．生物・植物調査あり
	☐	4．その他	☐ A．アスベスト含有材あり
			☐ B．フロン回収あり
			☐ C．その他（ ）
安全対策	☐	1．交通規制あり	☐ A．全面通行止め
			☐ B．片側通行止め
			☐ C．時間制限あり（ ）
	☐	2．通学路あり	☐ A．迂回路あり
			☐ B．仮設歩道必要
	☐	2．交通整理員	☐ A．区間（NO ～ ）配置人員　人/日
			☐ B．区間（ ）配置人員　人/日
			☐ C．区間（NO ～ ）配置人員　人/日
			☐ D．交替要員あり
	☐	3．鉄道等の近接作業制限あり	☐ A．工法制限あり（ ）
			☐ B．作業時間制限あり ）
	☐	4．バス路線（運行者との協議）	☐ A．協議済内容（ ）
			☐ B．未協議内容（ ）
	☐	5．その他	☐ A．その他（ ）
工事用道路	☑	1．一般道路（搬入路）の使用制限	☑ A．搬入経路指定あり
			☐ B．時間帯制限あり
	☐	2．仮設道路の設置条件あり	☐ A．一般交通供用あり
			☐ B．安全施設必要（ ）
			☐ C．路面工（ ）
			☐ D．工事完了後存続又は撤去（ ）
			☐ E．構造（ ）
			☐ F．用地（借地）
			☐ G．用地（公用地）
			☐ H．用地（その他）
	☐	3．その他	☐ A．その他（ ）
指定仮設備	☐	1．仮設物の指定又は一部指定あり	☐ A．工種（ ）
	☐	2．仮設構造物の転用、兼用あり	☐ A．工種（ ）
			☐ B．内容（ ）
	☐	3．その他	☐ A．その他（ ）

明示項目		明示事項	制約条件等
建設発生土 建設（産業）廃棄物関係	☐	1．発生土砂等の有効利用、適正処理あり ［場所が未確定］	☐ A．運搬距離（ Km
			☐ B．投棄料計上あり
			☐ C．整地（押土、敷均、締固等）必要
			☐ D．整地（押土）必要
	☐	2．発生土砂等の有効利用、適正処理あり ［自工事へ流用］	☐ A．盛土、埋戻
			☐ B．ストックヤード利用あり（ ）
			☐ C．仮置場必要（ ）
			☐ D．運搬距離（ Km ）
			☐ E．仮置場の用地借上費計上あり
	☑	3．発生土砂等の有効利用、適正処理あり ［他工事へ流用、または処分地指定］	☑ A．場所（現場内処理
			☑ B．盛土、埋戻
			☑ C．整地（押土、敷き均し、転圧）あり
			☐ D．ストックヤード利用あり（ ）
			☐ E．仮置場必要（ ）
			☑ F．運搬距離（ 0.5 Km ）
			☐ G．仮置場の用地借上費計上あり
			☐ H．処分料計上あり
	☐	4．発生土砂等の有効利用、適正処理あり ［他工事からの流用］	☐ A．他工事名（
			☐ B．請負者運搬あり（運搬距離
			☐ C．盛土、埋め戻し
			☐ D．ストックヤード利用あり（ ）
			☐ E．仮置場必要（ ）
			☐ F．仮置場の用地借上費計上あり
	☐	5．産業廃棄物の処理条件あり ［特別管理産業廃棄物］	☐ A．種類（ ）
			☐ B．場所（ ）
			☐ C．中間処理施設までの運搬距離（ Km ）
			☐ D．処理費計上あり
	☐	6．浄化槽、汲み取り便槽の取壊し処分あり	☐ A．槽内洗浄必要
			☐ B．可児市環境課と打合せの必要あり
	☑	7．「可児市が発注する公共工事から発生する産業廃棄物適正処理について」に基づく提出・提示書類あり	☐ A．産業廃棄物管理票（マニフェスト）
			☐ B．建設発生土処理地の関係図書
			☑ C．コプリス
			☐
工事支障物件	☐	1．占用支障物件あり（電気）	☐ A．移設時期（H 年 月頃）
			☐ B．移設時期（別途協議）
	☐	2．占用支障物件あり（電話）	☐ A．移設時期（H 年 月頃）
			☐ B．移設時期（別途協議）
	☐	3．占用支障物件あり（水道）	☐ A．移設時期（H 年 月頃）
			☐ B．移設時期（別途協議）
	☐	4．占用支承物件あり（下水道）	☐ A．移設時期（H 年 月頃）
			☐ B．移設時期（別途協議）
	☐	5．占用支障物件あり（ガス）	☐ A．移設時期（H 年 月頃）
			☐ B．移設時期（別途協議）
	☐	6．占用支障物件あり（ﾏﾝﾎｰﾙ蓋、仕切り弁蓋等）	☐ A．管理者による高さ調整 （ ）
			☐ B．請負者による高さ調整 （ ）
	☐	7．占用支障物件あり（その他）	☐ A．移設時期 （ ）
			☐ B．移設時期 （別途協議）
	☐	8．その他	☐ A．その他（ ）
排水工関係	☐	1．濁水、湧水処理条件あり	☐ A．方法（ ）
	☐	2．その他	☐ A．その他（ ）
再生材使用及び溶融スラグ	☑	1．再生材使用指定あり	☑ A．ＲＣ
			☐ B．アスファルト再生合材（30%再生）
			☐ C．アスファルト再生合材（100%再生）
			☑ D．溶融スラグ使用あり HPφ1000 ）
			☑ E．再生材を使用できない場合別途協議
	☐	2．その他	☐ A．その他（ ）
その他	☐	1．現場発生材あり	☐ A．品名（ ）
			☐ B．納入場所 ）
	☐	2．支給材あり	☐ A．品名（ ）
			☐ B．引渡し場所（ ）
	☐	3．イメージアップあり	☐ A．仮設費（ ）
			☐ B．安全費（ ）
			☐ C．営繕費（ ）
			☐ D．特別なイメージアップ（ ）
	☐	4．「可児市工事品質証明実施要領」該当あり	☐ A．品質証明員の配置あり
	☐	5．その他	☐ A．その他（ ）

平成30年度　土田渡雨水支線整備（その２）工事

本工事費内訳書

費目・工種・種別・細別・規格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
土工	式	1			1号明細書	
管路工	式	1			2号明細書	
ﾏﾝﾎｰﾙ工	式	1			3号明細書	
仮設工	式	1			4号明細書	
直接工事費	式	1				
共通仮設費	式	1				
共通仮設費	式	1				
運搬費	式	1			1号内訳書	
共通仮設費（率計上）	式	1				
純工事費	式	1				
現場管理費	式	1				
工事原価	式	1				
一般管理費等	式	1				
工事価格	式	1				

平成30年度　土田渡雨水支線整備（その２）工事

本工事費内訳書

費目・工種・種別・細別・規格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
消費税相当額	式	1				
工事費計	式	1				

運搬費

内訳書

1号内訳書

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
仮設材運搬 15.1t 製品L≦12m 片道4km 往復	式	1			11号代価表	
計						

土工

明細書

1号明細書

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
【施P】床掘り 土砂 標準 切梁腹起式 障害有り	m3	530			1号代価表	
【施P】埋戻し 最大埋戻幅1m以上4m未満	m3	200			2号代価表	
残土処理工	m3	310			3号代価表	
計						

管路工

明細書

2号明細書

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ管 φ1000 No.2人孔～No.3人孔	式	1			4号代価表	
鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ管 φ1000 No.3人孔～No.4人孔	式	1			5号代価表	
計						

ﾏﾝﾎｰﾙ工

明細書

3号明細書

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
No.3 3号組立ﾏﾝﾎｰﾙ	基	1			6号代価表	
No.4 3号組立ﾏﾝﾎｰﾙ	基	1			7号代価表	
計						

仮設工

明細書

4号明細書

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
建込工(両側分) 掘削深2.0m以下	m	130			8号代価表	
引抜工(両側分) 掘削深2.0m以下 ﾄﾗｯｸｸﾚｰﾝ油圧伸縮ｼﾞﾌﾞ型4.9t吊	m	130			9号代価表	
建込簡易土留材賃料 30m1ｾｯﾄ 5回 深さ1.8m 幅2.3m	式	1			10号代価表	
計						

【施P】床掘り
土砂 標準 切梁腹起式 障害有り

代価表

1号代価表

1 m3当り

	名　称　・　規　格	構成比	積算地区単価	基準地区単価	摘　　要	備　　考
K						
K1	ﾊﾞｯｸﾎｳ[排出ｶﾞｽ対策型(第2次基準値)] ｸﾛｰﾗ型･山積0.8 m3(平積0.6 m3)					
R						
R1	普通作業員					
R2	運転手(特殊)					
Z						
Z1	軽油 小型ﾛｰﾘｰ ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油					
土質 ： 土砂 施工方法 ： 標準						
土留方式の種類 ： 切梁腹起式 (ﾊﾞｯｸﾎｳ)排ｶﾞｽ機械の選択 ： 排ｶﾞｽ対策型(第2次基準値)						
軽油 ： 軽油； 小型ﾛｰﾘｰ ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油						

【施P】埋戻し
最大埋戻幅1m以上4m未満

代価表

2号代価表

1 m3当り

	名　称　・　規　格	構成比	積算地区単価	基準地区単価	摘　　要	備　　考
K						
K1	ﾊﾞｯｸﾎｳ[排出ｶﾞｽ対策型(第2次基準値)] ｸﾛｰﾗ型・山積0.8 m3(平積0.6 m3)					
K2	振動ﾛｰﾗ(賃貸)ﾊﾝﾄﾞｶﾞｲﾄﾞ 0.8~1.1t					
K3	ﾀﾝﾊﾟ(賃貸) 質量60~80kg					
R						
R1	普通作業員					
R2	特殊作業員					
R3	運転手(特殊)					
Z						
Z1	軽油 小型ﾛｰﾘｰ ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油					
Z2	ﾚｷﾞｭﾗｰｶﾞｿﾘﾝ ｽﾀﾝﾄﾞ					
施工方法 ： 最大埋戻幅1m以上4m未満 (ﾊﾞｯｸﾎｳ)排ｶﾞｽ機械の選択 ： 排ｶﾞｽ対策型(第2次基準値)						

代価表

【施P】埋戻し
最大埋戻幅1m以上4m未満

2号代価表

1 m3当り

	名　称　・　規　格	構成比	積算地区単価	基準地区単価	摘　　要	備　　考
(振動ﾛｰﾗ)賃料長期割引の適用 ： 長期割引あり (ﾀﾝﾊﾟ)賃料長期割引の適用 ： 長期割引あり						
軽油 ：	軽油； 小型ﾛｰﾘｰ ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油 ｶﾞｿﾘﾝ ： ﾚｷﾞｭﾗｰｶﾞｿﾘﾝ； ｽﾀﾝﾄﾞ					

残土処理工

代価表

3号代価表

1 m3当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
【施P】土砂等運搬 標準 ﾊﾞｯｸﾎｳ山積0.8m3(平積0.6m3) 土砂(岩塊･玉石混り土含む) DID無し 0.5km以下	m3	1			12号代価表	
【施P】整地 残土受入れ地での処理	m3	1			13号代価表	
計						
1 m3 当り						

代価表

鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ管 φ1000
No.2人孔～No.3人孔

4号代価表

1式当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ管 外圧1種径1000*T82mm*L2430mmJISA5372	m	72			14号代価表	
砕石基礎工	m3	110			15号代価表	
諸　雑　費	式	1			調整金	
計						
1 式 当り						

代価表

鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ管 φ1000
No.3人孔～No.4人孔

5号代価表

1式当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ管 外圧1種径1000*T82mm*L2430mmJISA5372	m	55			16号代価表	
砕石基礎工	m3	85			17号代価表	
諸　雑　費	式	1			調整金	
計						
1 式 当り						

No.3 3号組立ﾏﾝﾎｰﾙ

代価表

6号代価表

1基当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
No.3組立ﾏﾝﾎｰﾙ 材料	式	1			18号代価表	
ﾌﾞﾛｯｸ据付工	式	1			19号代価表	
基礎工	式	1			20号代価表	
ｲﾝﾊﾞｰﾄ工	式	1			21号代価表	
諸　雑　費	式	1			調整金	
計						
1 基 当り						

No.4 3号組立ﾏﾝﾎｰﾙ

代価表

7号代価表

1基当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
No.4組立ﾏﾝﾎｰﾙ 材料	式	1			22号代価表	
ﾌﾞﾛｯｸ据付工	式	1			23号代価表	
基礎工	式	1			24号代価表	
ｲﾝﾊﾞｰﾄ工	式	1			25号代価表	
諸　雑　費	式	1			調整金	
計						
1 基 当り						

代価表

建込工(両側分)
掘削深2.0m以下

8号代価表

10 m当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
土木一般世話役	人					
特殊作業員	人					
普通作業員	人					
ﾊﾞｯｸﾎｳ(排対2次) ｸﾛｰﾗ型・山積0.28m3(平積0.2m3)	時間				1号単価表	
諸　雑　費	式	1			調整金	
計						
1 m 当り						
10m当りの建込工 ： 2.0m以下　；　建込工(10m当り):世話役(人),特殊作業員(人),普通作業員(人),ﾊﾞｯｸﾎｳ(時間),掘削深さ(m以下) ﾊﾞｯｸﾎｳ機種選択(3.5m以下) ： ﾊﾞｯｸﾎｳ:ｸﾛｰﾗ型山積 0.28m3(平積0.20m3) ；　平積(m3)						
(ﾊﾞｯｸﾎｳ)排ｶﾞｽ機械の選択 ： 排ｶﾞｽ対策型(第2次基準値) ﾊﾞｯｸﾎｳ ： ﾊﾞｯｸﾎｳ(排対2次) ；　ｸﾛｰﾗ型・山積0.28m3(平積0.2m3)						

代価表

9号代価表

引抜工(両側分)
掘削深2.0m以下 ﾄﾗｯｸｸﾚｰﾝ油圧伸縮ｼﾞﾌﾞ型4.9t吊

10 m当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
土木一般世話役	人					
特殊作業員	人					
普通作業員	人					
ﾄﾗｯｸｸﾚｰﾝ(作業料金) 4.9t吊 ｵﾍﾟﾚｰﾀ付 日極	台/日					
諸　雑　費	式	1			調整金	
計						
1 m 当り						
10m当りの引抜工 ： 2.0m以下 ； 引抜工(10m当り):世話役(人),特殊作業員(人),普通作業員(人),ｸﾚｰﾝ(日),掘削深さ(m以下) ｸﾚｰﾝ機種選択(3.5m以下) ： ﾄﾗｯｸｸﾚｰﾝ 油圧伸縮ｼﾞﾌﾞ型4.9t吊						
(ｸﾚｰﾝ)賃料長期割引の適用 ： 長期割引あり ｸﾚｰﾝ賃料補正 ： 標準						

建込簡易土留材賃料 30m1ｾｯﾄ 5回
深さ1.8m 幅2.3m

代価表

10号代価表

1 式当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
たて込み簡易土留材(賃貸) 30m当 2.0型 深2.0m 幅3.0m未満	m2/日	2,760				
たて込み簡易土留材(賃貸) 30m当 2.0型 深2.0m 幅3.0m未満 整備費	m2	120				
計						
1 式 当り						
代価表単位の選択 ： 1式当り代価表 代価表当り数量の対象 ： 賃貸数量						
供用日数算出区分 ： 直接入力 ｾｯﾄ数 ： 30m 1ｾｯﾄ						
掘削幅 ： W=2.3m 掘削深 ： H=1.8m						
(修理･損耗費)(整備費)区分 ： 整備費(建設物価または積算資料) 供用日数(総施工延長分) ： KN1=23日						
簡易土留め機材の使用回数 ： n=5回						

仮設材運搬 15.1t 製品L≦12m
片道4km 往復

代価表

11号代価表

1式当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
仮設材の運搬費 基本運賃	t	30 200				
積込費取卸し費 積込費+取卸し費 基地現場間往復	t	15 100				
諸　雑　費	式	1			調整金	
計						
1 式 当り						
代価表の選択 ： 仮設材運搬1式当り代価表 仮設材運搬質量(G) ： W=15.1t						
地方整備局区分 ： 関東･中部･近畿 往復片道区分選択 ： 往復						
片道平均運搬距離 ： L=4km 製品長区分 ： 製品長12m以内						
割増率の計上方法(標準:選択) ： 冬期､深夜･早朝割増をそれぞれ選択 冬期割増計上区分 ： 冬期割増(F1):割増無し ； 割増率(%)						
深夜･早朝割増計上区分 ： 深夜･早朝割増(C4):割増無し ； 割増率(%) その他の諸料金計上区分 ： その他の諸料金を計上しない						
積込･取卸費用計上区分 ： 計上する 積込･取卸区分(往復) ： 積込+取卸費 基地現場間往復						

代価表

【施P】土砂等運搬
標準 ﾊﾞｯｸﾎｳ山積0.8m3(平積0.6m3) 土砂(岩塊･玉石混り土含む) DID無し 0.5km以下

12号代価表

1 m3当り

	名　称　・　規　格	構成比	積算地区単価	基準地区単価	摘　　要	備　　考
K						
K1	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ ｵﾝﾛｰﾄﾞ･ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ･積載質量10t積級					
R						
R1	運転手(一般)					
Z						
Z1	軽油 小型ﾛｰﾘｰ ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油					
土砂等発生現場 ： 標準 積込機種･規格 ： ﾊﾞｯｸﾎｳ山積0.8m3(平積0.6m3)						
土質 ： 土砂(岩塊･玉石混り土含む) DID区間の有無 ： 無し						
運搬距離 ： 0.5km以下 軽油 ： 軽油； 小型ﾛｰﾘｰ ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油						

【施P】整地
残土受入れ地での処理

代価表

13号代価表

1 m3当り

	名　称　・　規　格	構成比	積算地区単価	基準地区単価	摘　　要	備　　考
K						
K1	ﾌﾞﾙﾄﾞｰｻﾞ[排出ｶﾞｽ対策型(第1次基準値)] 普通15t級(13~16t)					
R						
R1	運転手(特殊)					
Z						
Z1	軽油 小型ﾛｰﾘｰ ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油					
作業区分 ： 残土受入れ地での処理 (ﾌﾞﾙﾄﾞｰｻﾞ)排ｶﾞｽ機械の選択 ： 排ｶﾞｽ対策型(第1次基準値)						
軽油 1.2号 ： 軽油 ； 小型ﾛｰﾘｰ ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油						

代価表

鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ管
外圧1種径1000*T82mm*L2430mmJISA5372

14号代価表

10 m当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
ﾋｭｰﾑ管 B型(遠心鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ管) 外圧1種 径1000*T82mm*L2430mm　JIS A 5372	本	4.100				
鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ管布設 管径1000mm	m	10			26号代価表	
計						
1 m 当り						
代価表の選択 ： 布設延長10m当り代価表 布設管種の選択 ： 鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ管						
鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ管布設 ： 鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ管布設； 管径1000mm 鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ管の計上 ： 計上する						
鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ管の選択 ： ﾋｭｰﾑ管 B型(遠心鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ管)； 外圧1種 径1000*T82mm*L2430mm JIS A 5372 鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ管の単位選択 ：「本」単位の鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ管材料費						

砕石基礎工

代価表

15号代価表

1 m3当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
再生砕石 RC-40	m3	1				
【施P】埋戻し 最大埋戻幅1m以上4m未満	m3	1			27号代価表	
計						
1 m3 当り						

代価表

鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ管
外圧1種径1000*T82mm*L2430mmJISA5372

16号代価表

10 m当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
ﾋｭｰﾑ管 B型(遠心鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ管) 外圧1種 径1000*T82mm*L2430mm　JIS A 5372	本	4.100				
鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ管布設 管径1000mm	m	10			26号代価表	
計						
1 m 当り						
代価表の選択 ： 布設延長10m当り代価表 布設管種の選択 ： 鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ管						
鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ管布設 ： 鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ管布設； 管径1000mm 鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ管の計上 ： 計上する						
鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ管の選択 ： ﾋｭｰﾑ管 B型(遠心鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ管)； 外圧1種 径1000*T82mm*L2430mm JIS A 5372 鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ管の単位選択 ：「本」単位の鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ管材料費						

砕石基礎工

代価表

17号代価表

1 m3当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
再生砕石 RC-40	m3	1				
【施P】埋戻し 最大埋戻幅1m以上4m未満	m3	1			28号代価表	
計						
1 m3 当り						

No. 3組立ﾏﾝﾎｰﾙ
材料

代価表

18号代価表

1 式当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
1号部 材料	式	1			29号代価表	
3号部 材料	式	1			30号代価表	
諸　雑　費	式	1			調整金	
計						
1 式 当り						

ﾌﾞﾛｯｸ据付工

代価表

19号代価表

1式当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
組立ﾏﾝﾎｰﾙ設置工 4箇所未満 1号(内径900㎜)深さ3m以下	箇所	1			31号代価表	
組立ﾏﾝﾎｰﾙ設置工 4箇所未満 3号(内径1500㎜)深さ4m以下	箇所	1			32号代価表	
計						
1 式 当り						

基礎工

代価表

20号代価表

1式当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
【施P】基礎砕石 17.5cmを超え20.0cm以下 砕石(各種)	m2	3			33号代価表	
計						
1 式 当り						

代価表

ｲﾝﾊﾞｰﾄ工

21号代価表

1式当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
【施P】ｺﾝｸﾘｰﾄ 小型構造物 ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾚｰﾝ機能付)打設 18-8-40(高炉) 一般養生	m3	1			34号代価表	
【施P】型枠 一般型枠 小型構造物	m2	1			35号代価表	
諸　雑　費	式	1			調整金	
計						
1 式 当り						

代価表

No. 4組立ﾏﾝﾎｰﾙ
材料

22号代価表

1 式当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
1号部 材料	式	1			36号代価表	
3号部 材料	式	1			37号代価表	
諸　雑　費	式	1			調整金	
計						
1 式 当り						

ﾌﾞﾛｯｸ据付工

代価表

23号代価表

1式当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
組立ﾏﾝﾎｰﾙ設置工 4箇所未満 3号(内径1500㎜)深さ4m以下	箇所	1			38号代価表	
組立ﾏﾝﾎｰﾙ設置工 4箇所未満 1号(内径900㎜)深さ3m以下	箇所	1			39号代価表	
計						
1 式 当り						

基礎工

代価表

24号代価表

1式当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
【施P】基礎砕石 17.5cmを超え20.0cm以下 砕石(各種)	m2	3			40号代価表	
計						
1 式 当り						

代価表

ｲﾝﾊﾞｰﾄ工

25号代価表

1 式当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
【施P】ｺﾝｸﾘｰﾄ 小型構造物 ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾚｰﾝ機能付)打設 18-8-40(高炉) 一般養生	m3	1			41号代価表	
【施P】型枠 一般型枠 小型構造物	m2	1			42号代価表	
諸　雑　費	式	1			調整金	
計						
1 式 当り						

代価表

26号代価表

鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ管布設
管径1000㎜

10 m当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
土木一般世話役	人					
特殊作業員	人					
普通作業員	人					
ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ・作業料金 25t吊 ｵﾍﾟﾚｰﾀ付 日極	台/日					
諸雑費	%				諸雑費	
計						
1 m 当り						
管径の選択(鉄筋Co管200~2400㎜) ： 1000㎜ (ｸﾚｰﾝ)賃料長期割引の適用 ： 長期割引あり						
ｸﾚｰﾝ賃料補正 ： 標準						

【施P】埋戻し
最大埋戻幅1m以上4m未満

代価表

27号代価表

1 m3当り

	名　称　・　規　格	構成比	積算地区単価	基準地区単価	摘　　要	備　　考
K						
K1	ﾊﾞｯｸﾎｳ[排出ｶﾞｽ対策型(第2次基準値)] ｸﾛｰﾗ型・山積0.8 m3(平積0.6 m3)					
K2	振動ﾛｰﾗ(賃貸)ﾊﾝﾄﾞｶﾞｲﾄﾞ 0.8~1.1t					
K3	ﾀﾝﾊﾟ(賃貸) 質量60~80kg					
R						
R1	普通作業員					
R2	特殊作業員					
R3	運転手(特殊)					
Z						
Z1	軽油 小型ﾛｰﾘｰ ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油					
Z2	ﾚｷﾞｭﾗｰｶﾞｿﾘﾝ ｽﾀﾝﾄﾞ					
施工方法 ： 最大埋戻幅1m以上4m未満 (ﾊﾞｯｸﾎｳ)排ｶﾞｽ機械の選択 ： 排ｶﾞｽ対策型(第2次基準値)						

代価表

27号代価表

【施P】埋戻し
最大埋戻幅1m以上4m未満

1 m3当り

	名　称　・　規　格	構成比	積算地区単価	基準地区単価	摘　　要	備　　考
(振動ﾛｰﾗ)賃料長期割引の適用 ： 長期割引あり (ﾀﾝﾊﾟ)賃料長期割引の適用 ： 長期割引あり						
軽油 ：	軽油； 小型ﾛｰﾘｰ ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油 ｶﾞｿﾘﾝ ： ﾚｷﾞｭﾗｰｶﾞｿﾘﾝ； ｽﾀﾝﾄﾞ					

【施P】埋戻し
最大埋戻幅1m以上4m未満

代価表

28号代価表

1 m3当り

	名　称　・　規　格	構成比	積算地区単価	基準地区単価	摘　　要	備　　考
K						
K1	ﾊﾞｯｸﾎｳ[排出ｶﾞｽ対策型(第2次基準値)] ｸﾛｰﾗ型・山積0.8 m3(平積0.6 m3)					
K2	振動ﾛｰﾗ(賃貸)ﾊﾝﾄﾞｶﾞｲﾄﾞ 0.8~1.1t					
K3	ﾀﾝﾊﾟ(賃貸) 質量60~80kg					
R						
R1	普通作業員					
R2	特殊作業員					
R3	運転手(特殊)					
Z						
Z1	軽油 小型ﾛｰﾘｰ ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油					
Z2	ﾚｷﾞｭﾗｰｶﾞｿﾘﾝ ｽﾀﾝﾄﾞ					
施工方法 ： 最大埋戻幅1m以上4m未満 (ﾊﾞｯｸﾎｳ)排ｶﾞｽ機械の選択 ： 排ｶﾞｽ対策型(第2次基準値)						

代価表

【施P】埋戻し
最大埋戻幅1m以上4m未満

28号代価表

1 m3当り

	名　称　・　規　格	構成比	積算地区単価	基準地区単価	摘　　要	備　　考
(振動ﾛｰﾗ)賃料長期割引の適用 ： 長期割引あり (ﾀﾝﾊﾟ)賃料長期割引の適用 ： 長期割引あり						
軽油 ：	軽油； 小型ﾛｰﾘｰ ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油 ｶﾞｿﾘﾝ ： ﾚｷﾞｭﾗｰｶﾞｿﾘﾝ； ｽﾀﾝﾄﾞ					

代価表

1号部
材料

29号代価表

1式当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
ﾏﾝﾎｰﾙ蓋 下水道用 φ600【可児市型】	基	1				
調整金具 φ600*45	組	1				
調整ﾘﾝｸﾞ φ600*150	個	1				
斜壁ﾌﾞﾛｯｸ φ600*φ900*300	個	1				
計						
1 式 当り						

代価表

3号部
材料

30号代価表

1式当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
斜壁ﾌﾞﾛｯｸ φ900*φ1500*300	個	1				
管取付壁 φ1500*1500	個	1				
底版ﾌﾞﾛｯｸ 有効高150	個	1				
計						
1 式 当り						

代価表

組立ﾏﾝﾎｰﾙ設置工 4箇所未満
1号(内径900㎜)深さ3m以下

31号代価表

1 箇所当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
組立ﾏﾝﾎｰﾙ設置工[手間のみ] 1号(内径900㎜) 深さ3m以下	箇所	1				
計						
1 箇所 当り						
組立ﾏﾝﾎｰﾙ工規格･仕様 ： 1号(内径900㎜)ﾏﾝﾎｰﾙ深さ3m以下 施工規模 ： 4箇所未満 ； 加算率(%)						
作業時間帯 ： 通常作業 ； 補正係数 市場単価の補正方法 ： 単価欄に対して補正計算を行う						

代価表

組立ﾏﾝﾎｰﾙ設置工 4箇所未満
3号(内径1500mm)深さ4m以下

32号代価表

1 箇所当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
組立ﾏﾝﾎｰﾙ設置工[手間のみ] 3号(内径1500mm) 深さ4m以下	箇所	1				
諸　雑　費	式	1			調整金	
計						
1 箇所 当り						
組立ﾏﾝﾎｰﾙ工規格･仕様 ： 3号(内径1500mm)ﾏﾝﾎｰﾙ深さ4m以下 施工規模 ： 4箇所未満 ； 加算率(%)						
作業時間帯 ： 通常作業 ； 補正係数 市場単価の補正方法 ： 単価欄に対して補正計算を行う						

代価表

【施P】基礎砕石
17.5cmを超え20.0cm以下 砕石(各種)

33号代価表

1 m2当り

	名　称　・　規　格	構成比	積算地区単価	基準地区単価	摘　　要	備　　考
K						
K1	ﾊﾞｯｸﾎｳ･ｸﾛｰﾗ型(賃貸)(長期割引なし) ﾊﾞｹｯﾄ容量･山積0.8(平積0.6)m3					
R						
R1	普通作業員					
R2	特殊作業員					
R3	土木一般世話役					
R4	運転手(特殊)					
Z						
Z1	再生砕石 RC-40					
Z2	軽油 小型ﾛｰﾘｰ ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油					
日当り作業量補正(道路維持等作業効率低下) ： 無 砕石の厚さ ： 17.5cmを超え20.0cm以下						
砕石の種類 ： 砕石(各種) (ﾊﾞｯｸﾎｳ山積0.8m3)賃料長期割引の適用 ： 長期割引なし						

代価表

【施P】基礎砕石
17.5cmを超え20.0cm以下 砕石(各種)

33号代価表

1 m2当り

	名　称　・　規　格	構成比	積算地区単価	基準地区単価	摘　　要	備　　考
砕石(各種) : 再生砕石 ; RC-40 軽油 : 軽油 ; 小型ﾛｰﾘｰ ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油						

【施P】ｺﾝｸﾘｰﾄ
小型構造物 ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾚｰﾝ機能付)打設 18-8-40(高炉) 一般養生

代価表

34号代価表

1 m3当り

	名　称　・　規　格	構成比	積算地区単価	基準地区単価	摘　　要	備　　考
K						
K1	ﾊﾞｯｸﾎｳ(賃貸)ｸﾛｰﾗ型ｸﾚｰﾝ装置付 山積み0.8m3					
R						
R1	普通作業員					
R2	特殊作業員					
R3	運転手(特殊)					
R4	土木一般世話役					
Z						
Z1	生ｺﾝｸﾘｰﾄ 18-8-40(高炉)				43号代価表	
Z2	軽油 小型ﾛｰﾘｰ ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油					
日当り 構造物	作業量補正(道路維持等作業効率低下) ： 無 種別 ： 小型構造物					
打設工 ｺﾝｸﾘｰﾄ	法 ： ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾚｰﾝ機能付)打設 規格 ： 18-8-40(高炉)					

代価表

【施P】ｺﾝｸﾘｰﾄ
小型構造物 ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾚｰﾝ機能付)打設 18-8-40(高炉) 一般養生

34号代価表

1 m3当り

	名　称　・　規　格	構成比	積算地区単価	基準地区単価	摘　　要	備　　考
養生工の種類 ： 一般養生 (ｸﾚｰﾝ付BH 山積0.8m3)賃料長期割引の適用 ： 長期割引あり						
軽油 ： 軽油； 小型ﾛｰﾘｰ ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油 生ｺﾝｸﾘｰﾄ ： 生ｺﾝｸﾘｰﾄ； 18-8-40(高炉)						

【施P】型枠
一般型枠 小型構造物

代価表

35号代価表

1 m2当り

	名　称　・　規　格	構成比	積算地区単価	基準地区単価	摘　　要	備　　考
R						
R1	型わく工					
R2	普通作業員					
R3	土木一般世話役					
日当り	作業量補正(道路維持等作業効率低下) ： 無					
型枠の	種類 ： 一般型枠					
構造物	の種類 ： 小型構造物					

代価表

1号部
材料

36号代価表

1式当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
ﾏﾝﾎｰﾙ蓋 下水道用 φ600【可児市型】	組	1				
調整金具 φ600*45	組	1				
調整ﾘﾝｸﾞ φ600*100	個	2				
斜壁ﾌﾞﾛｯｸ φ600*φ900*300	個	1				
計						
1 式 当り						

代価表

3号部
材料

37号代価表

1式当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
斜壁ﾌﾞﾛｯｸ φ900*φ1500*300	個	1				
管取付壁 φ1500*1800	個	1				
底版ﾌﾞﾛｯｸ 有効高150	個	1				
計						
1 式 当り						

代価表

組立ﾏﾝﾎｰﾙ設置工 4箇所未満
3号(内径1500㎜)深さ4m以下

38号代価表

1 箇所当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
組立ﾏﾝﾎｰﾙ設置工[手間のみ] 3号(内径1500㎜) 深さ4m以下	箇所	1				
諸　雑　費	式	1			調整金	
計						
1 箇所 当り						
組立ﾏﾝﾎｰﾙ工規格･仕様 ： 3号(内径1500㎜)ﾏﾝﾎｰﾙ深さ4m以下 施工規模 ： 4箇所未満 ； 加算率(%)						
作業時間帯 ： 通常作業 ； 補正係数 市場単価の補正方法 ： 単価欄に対して補正計算を行う						

代価表

39号代価表

組立ﾏﾝﾎｰﾙ設置工 4箇所未満
1号(内径900㎜)深さ3m以下

1 箇所当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
組立ﾏﾝﾎｰﾙ設置工[手間のみ] 1号(内径900㎜) 深さ3m以下	箇所	1				
計						
1 箇所 当り						
組立ﾏﾝﾎｰﾙ工規格･仕様 ： 1号(内径900㎜)ﾏﾝﾎｰﾙ深さ3m以下 施工規模 ： 4箇所未満 ； 加算率(%)						
作業時間帯 ： 通常作業 ； 補正係数 市場単価の補正方法 ： 単価欄に対して補正計算を行う						

代価表

【施P】基礎砕石
17.5cmを超え20.0cm以下 砕石(各種)

40号代価表

1 m2当り

	名　称　・　規　格	構成比	積算地区単価	基準地区単価	摘　　要	備　　考
K						
K1	ﾊﾞｯｸﾎｳ(賃貸)ｸﾛｰﾗ 山積み0.8m3					
R						
R1	普通作業員					
R2	特殊作業員					
R3	土木一般世話役					
R4	運転手(特殊)					
Z						
Z1	再生砕石 RC-40					
Z2	軽油 小型ﾛｰﾘｰ ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油					
日当り作業量補正(道路維持等作業効率低下) ： 無 砕石の厚さ ： 17.5cmを超え20.0cm以下						
砕石の種類 ： 砕石(各種) (ﾊﾞｯｸﾎｳ山積0.8m3)賃料長期割引の適用 ： 長期割引あり						

代価表

【施P】基礎砕石
17.5cmを超え20.0cm以下 砕石(各種)

40号代価表

1 m2当り

	名　称　・　規　格	構成比	積算地区単価	基準地区単価	摘　　要	備　　考
砕石(各種) : 再生砕石 ; RC-40 軽油 : 軽油 ; 小型ﾛｰﾘｰ ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油						

【施P】ｺﾝｸﾘｰﾄ
小型構造物 ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾚｰﾝ機能付)打設 18-8-40(高炉) 一般養生

代価表

41号代価表

1 m3当り

	名　称　・　規　格	構成比	積算地区単価	基準地区単価	摘　　要	備　　考
K						
K1	ﾊﾞｯｸﾎｳ(賃貸)ｸﾛｰﾗ型ｸﾚｰﾝ装置付 山積み0.8m3					
R						
R1	普通作業員					
R2	特殊作業員					
R3	運転手(特殊)					
R4	土木一般世話役					
Z						
Z1	生ｺﾝｸﾘｰﾄ 18-8-40(高炉)				43号代価表	
Z2	軽油 小型ﾛｰﾘｰ ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油					
日当り 構造物	作業量補正(道路維持等作業効率低下) ： 無 種別 ： 小型構造物					
打設工 ｺﾝｸﾘｰﾄ	法 ： ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾚｰﾝ機能付)打設 規格 ： 18-8-40(高炉)					

代価表

【施P】ｺﾝｸﾘｰﾄ
小型構造物 ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾚｰﾝ機能付)打設 18-8-40(高炉) 一般養生

41号代価表

1 m3当り

	名　称　・　規　格	構成比	積算地区単価	基準地区単価	摘　　要	備　　考
養生工の種類 ： 一般養生 (ｸﾚｰﾝ付BH 山積0.8m3)賃料長期割引の適用 ： 長期割引あり						
軽油 ： 軽油； 小型ﾛｰﾘｰ ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油 生ｺﾝｸﾘｰﾄ ： 生ｺﾝｸﾘｰﾄ； 18-8-40(高炉)						

【施P】型枠
一般型枠 小型構造物

代価表

42号代価表

1 m2当り

	名　称　・　規　格	構成比	積算地区単価	基準地区単価	摘　　要	備　　考
R						
R1	型わく工					
R2	普通作業員					
R3	土木一般世話役					
日当り作業量補正(道路維持等作業効率低下) ： 無 型枠の種類 ： 一般型枠						
構造物の種類 ： 小型構造物						

代価表

生ｺﾝｸﾘｰﾄ
18-8-40(高炉)

43号代価表

1 m3当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
(高炉)生ｺﾝｸﾘｰﾄ 18-8-25,18-8-40　B種　W/C=60%以下	m3	1				
計						
1 m3 当り						
生ｺﾝｸﾘｰﾄ規格 18-8-40(高炉) ： (高炉)生ｺﾝｸﾘｰﾄ ; 18-8-25,18-8-40　B種　W/C=60%以下 生ｺﾝｸﾘｰﾄの夜間割増の有無 ： 無						
生ｺﾝｸﾘｰﾄ小型車割増額の計上 ： 計上しない 生ｺﾝｸﾘｰﾄ山岳割増額の計上 ： 計上しない						
生ｺﾝｸﾘｰﾄ冬期加熱費計上区分(標準=なし) ： 計上しない						

単価表

ﾊﾞｯｸﾎｳ(排対2次)
ｸﾛｰﾗ型・山積0.28m3(平積0.2m3)

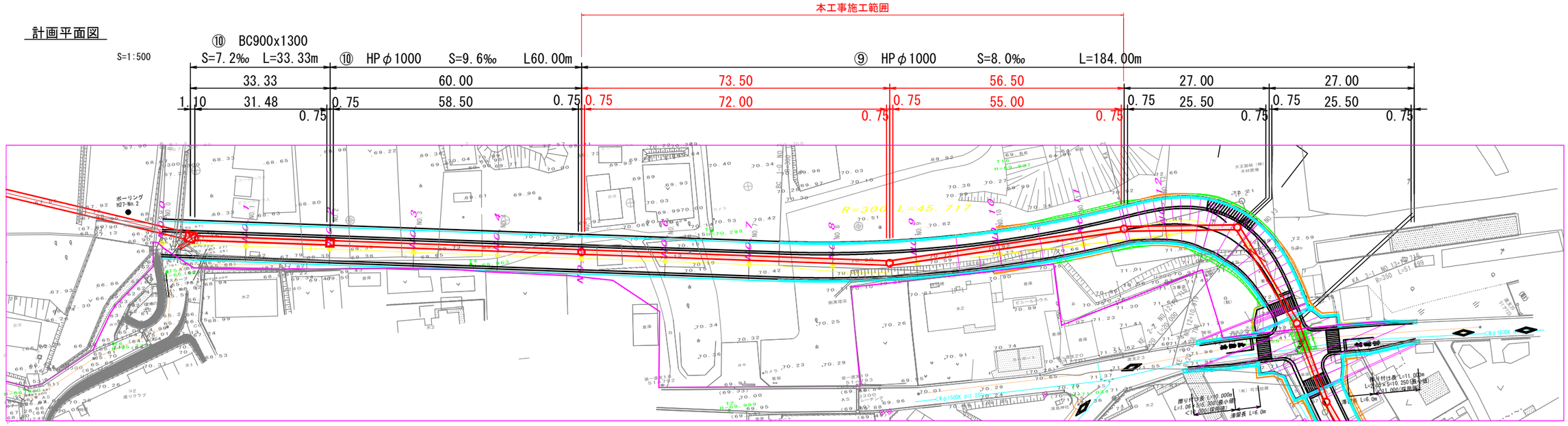
1号単価表

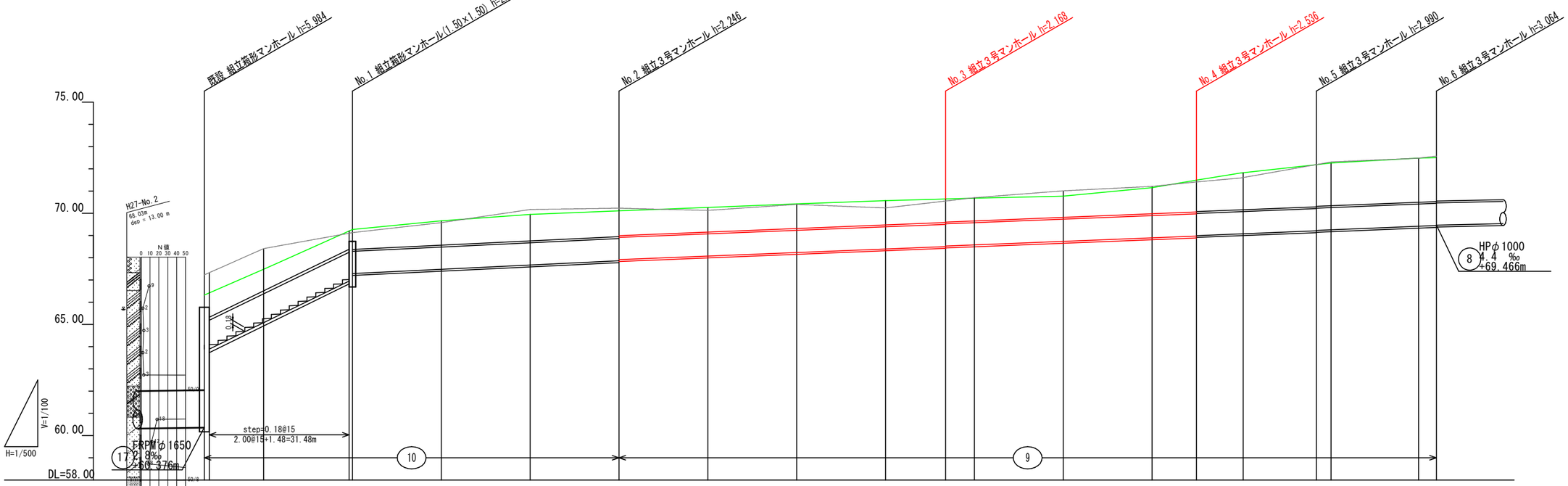
1時間当り

名　称　・　規　格	単位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要	備　　考
運転手(特殊)	人					
軽油 小型ﾛｰﾘｰ ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油	L					
ﾊﾞｯｸﾎｳ[排出ｶﾞｽ対策型(第2次基準値)] ｸﾛｰﾗ型・山積0.28m3(平積0.2 m3)	時間					
計						
1 時間 当り						
供用損料に対する補正 ： 単価管理で設定した損料を適用： ； 11欄に掛ける補正値:建設機械 (陸上) 軽油 ： 軽油 ； 小型ﾛｰﾘｰ ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油						

計画平面図

S=1:500





管径	mm		BC900x1000(BC900x1300)		HPφ1000		HPφ1000											
勾配	‰		7.2 (97.2)		9.6		8.0											
区間距離	m		33.33 (31.48)		60.00		73.50				56.50			27.00		27.00		
計画地盤高	m	66.32	67.48	69.27	69.66	70.11	70.27	70.43	70.58	70.67	70.70	70.79	71.17	71.51	71.80	72.20	72.26	72.48	72.51
現況地盤高	m	67.23	68.41	69.13	69.58	70.23	70.13	70.40	70.24	70.54	70.68	71.01	71.21	71.41	71.59	72.21	72.31	72.48	72.57
土被	m	1.00	0.97	0.89	1.10	1.16	1.11	1.10	1.10	1.09	1.04	0.97	1.19	1.45	1.64	1.91	1.89	1.98	1.98
管底高	m	64.090 (63.890)	65.258 (65.079)	(66.950) 67.011	67.288	67.864	67.914	67.672	68.394	68.502	68.522	68.734	68.894	68.974	68.994	69.210	69.230	69.414	69.446
掘さく深	m	2.33	2.20	2.12	1.56	1.83	1.78	1.86	1.77	1.75	1.71	1.64	1.86	2.12	2.31	2.57	2.59	2.65	2.65
単距離	m	0.00 1.10	12.23	19.25 0.75	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	13.50	6.50	20.00	20.00	10.00	10.00	17.00	3.00	20.00	4.00
追加距離	m	0.00 1.10	13.33	32.58 33.58	53.33	73.33	93.33	113.33	133.33	153.33	166.83	173.33	193.33	213.33	223.33	233.33	250.33 253.33	273.33	277.33
測点		既設入孔	No.1	No.1入孔	No.3	No.4	No.2入孔	No.6	No.7	No.8	No.3入孔	No.9	No.10	No.11	No.4入孔	No.12	No.5入孔 No.13	No.14	No.6入孔

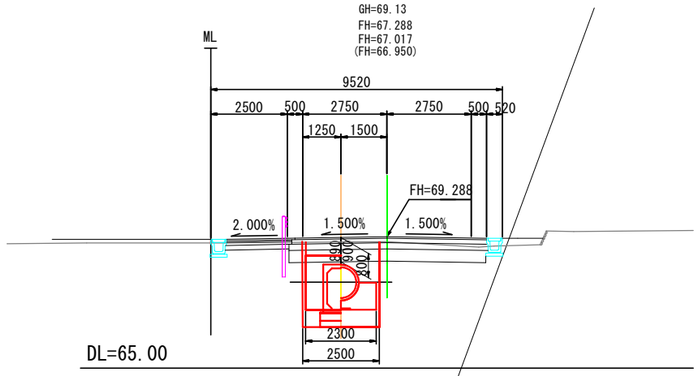
工事名	平成30年度 土田渡雨水支線整備(その2)工事
図面名	平面縦断図(1)
年月日	
尺度	1:500 1:100
事務所名	可児市 建設部 土木課

横　断　図(1)

S=1:100

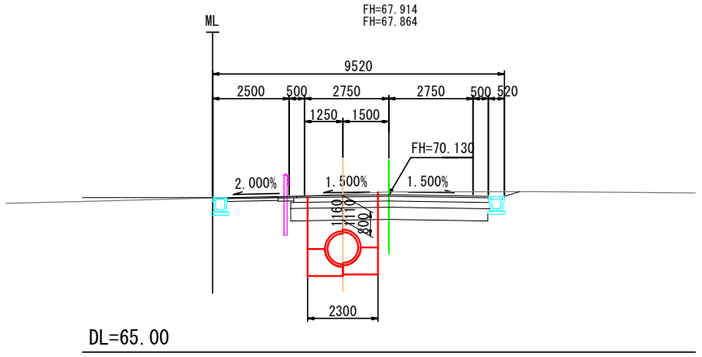
NO. 1MH

FGH=69.27
GH=69.13
FH=67.288
FH=67.017
(FH=66.950)



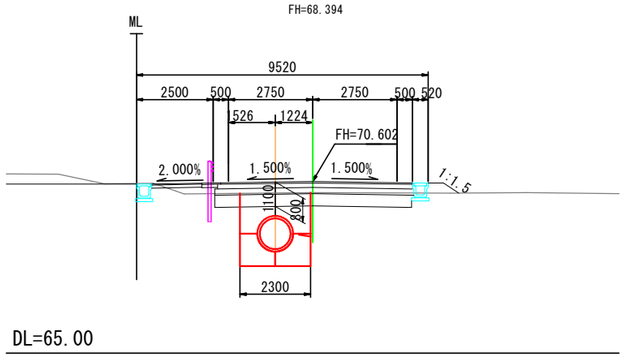
NO. 2MH

FGH=70.11
GH=70.23
FH=67.914
FH=67.864



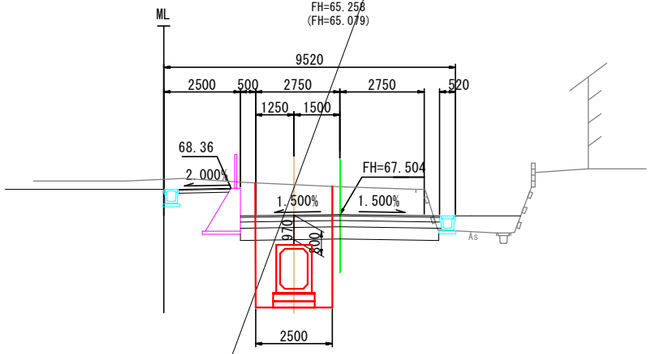
NO. 8

FGH=70.58
GH=70.24
FH=68.394



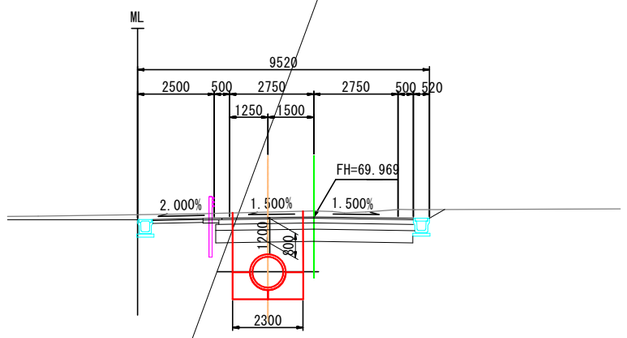
NO. 1

GH=67.48
GH=67.41
FH=65.258
(FH=65.079)



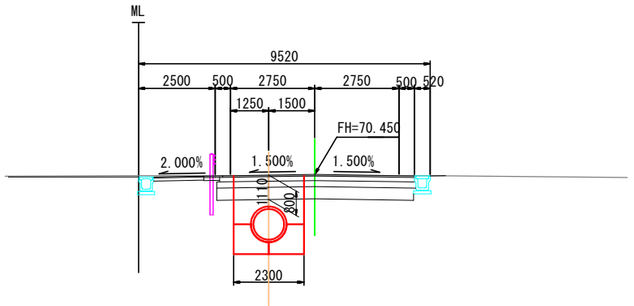
NO. 4

FGH=69.95
GH=70.17
FH=67.672



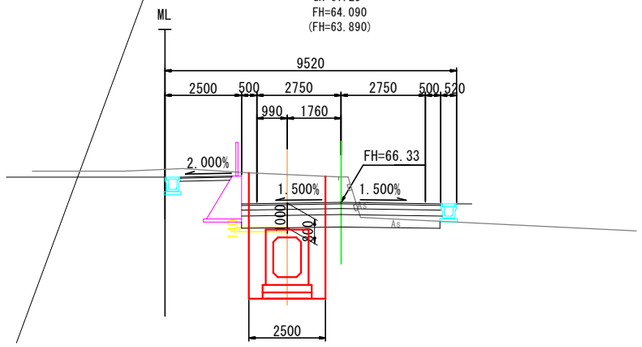
NO. 7

FGH=70.43
GH=70.40
FH=68.234



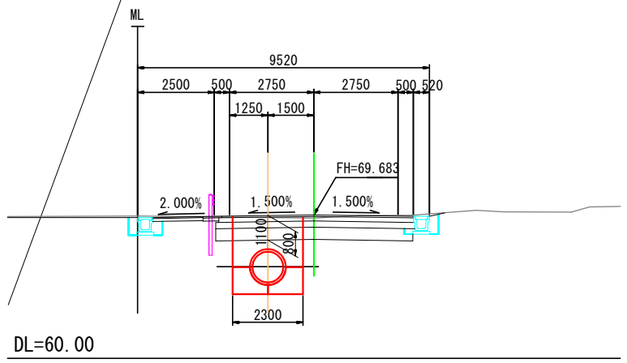
NO. 0+1.10

FGH=66.32
GH=67.23
FH=64.090
(FH=63.890)



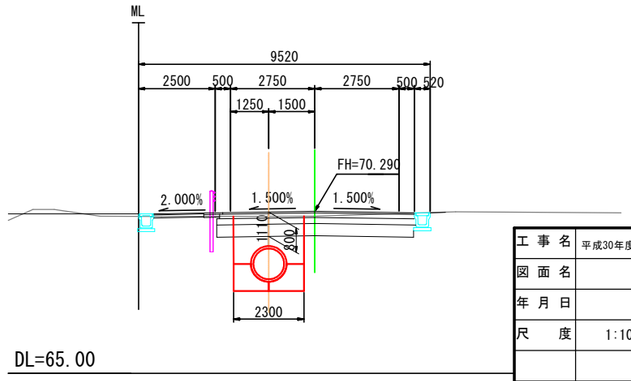
NO. 3

FGH=69.66
GH=69.58
FH=67.480



NO. 6

FGH=70.27
GH=70.13
FH=68.074



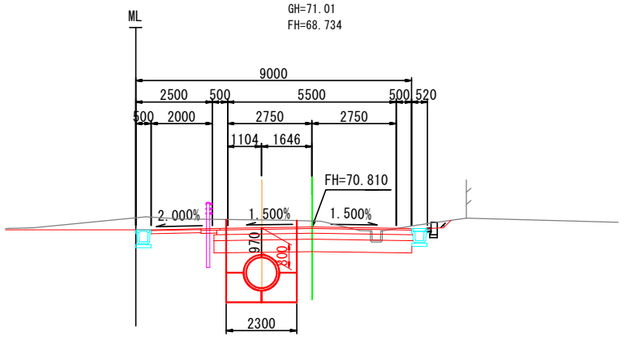
工事名	平成30年度　土田渡雨水支線整備(その2)工事
図面名	横断図(1)
年月日	
尺度	1:100
事務所名	可児市 建設部 土木課

横　断　図　(2)

S=1:100

NO. 10

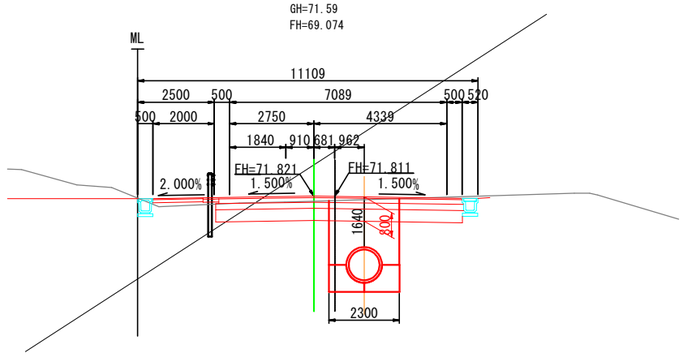
FGH=70.79
GH=71.01
FH=68.734



DL=65.00

NO. 12

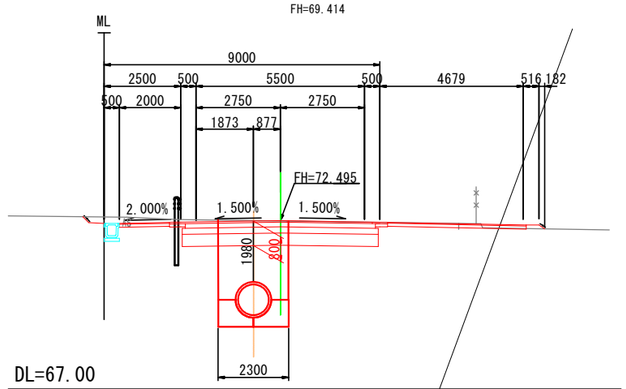
FGH=71.80
GH=71.59
FH=69.074



DL=65.00

NO. 14

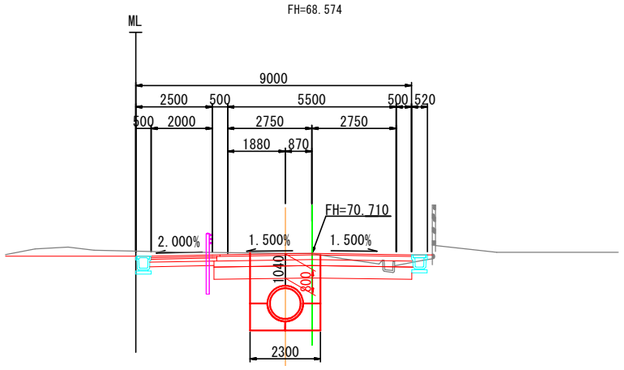
FGH=72.48
GH=72.48
FH=69.414



DL=67.00

NO. 9

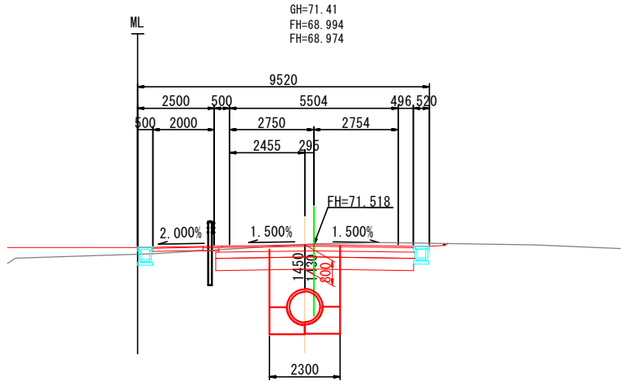
FGH=70.70
GH=70.68
FH=68.574



DL=65.00

NO. 4MH

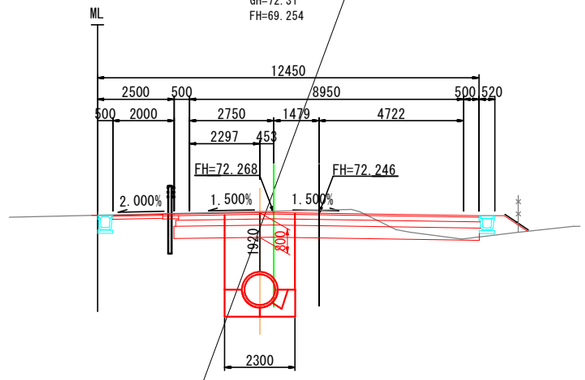
FGH=71.51
GH=71.41
FH=68.994
FH=68.974



DL=65.00

NO. 13

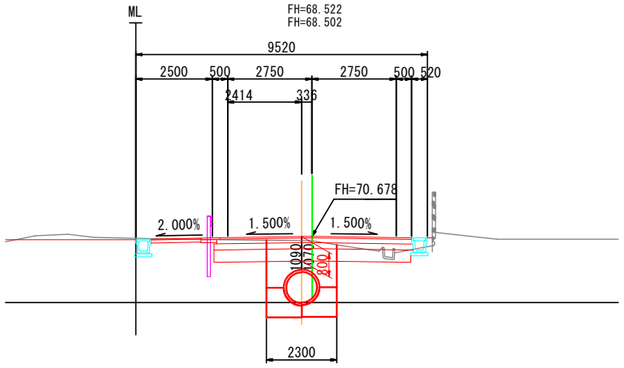
FGH=72.26
GH=72.31
FH=69.254



DL=65.00

NO. 3MH

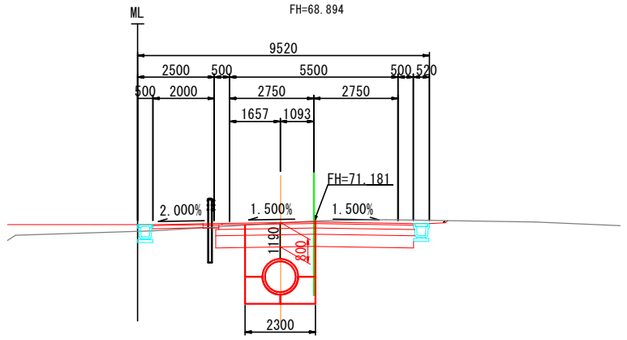
FGH=70.67
GH=70.54
FH=68.522
FH=68.502



DL=65.00

NO. 11

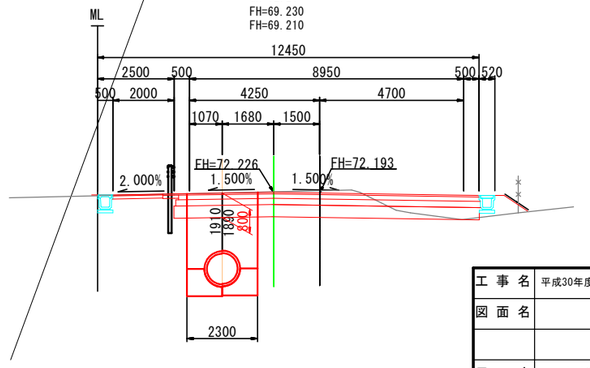
FGH=71.17
GH=71.21
FH=68.894



DL=65.00

NO. 5MH

FGH=72.20
GH=72.21
FH=69.230
FH=69.210

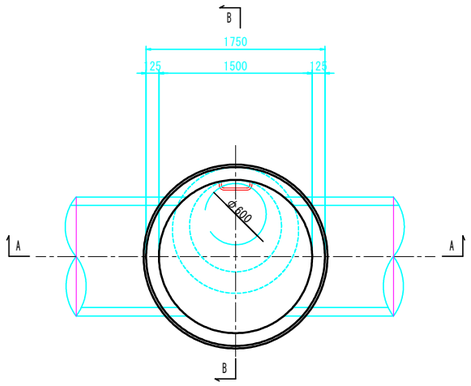


DL=65.00

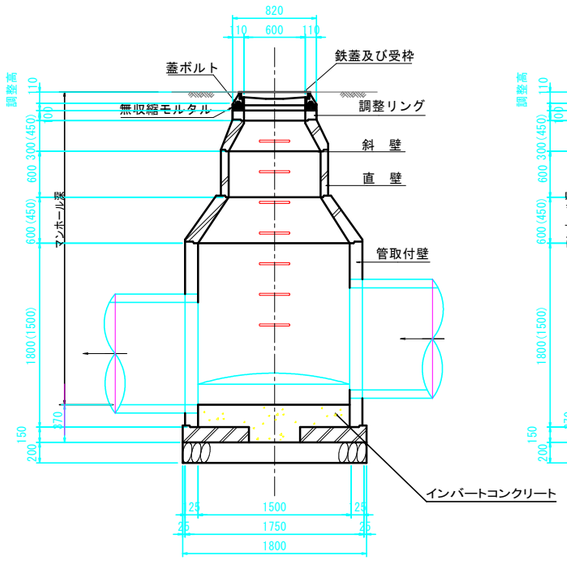
工事名	平成30年度　土田渡雨水支線整備(その2)工事
図面名	横断図 (2)
尺度	1:100
事務所名	可児市 建設部 土木課

３号組立マンホール標準図 S=1:30

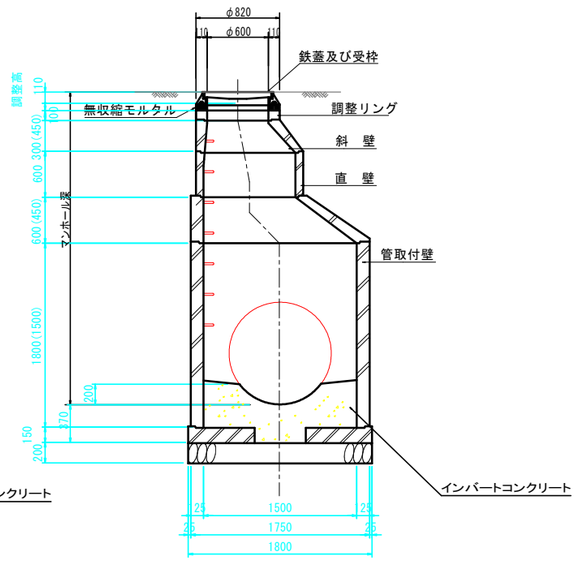
平　面　図



A-A 断面図



B-B 断面図

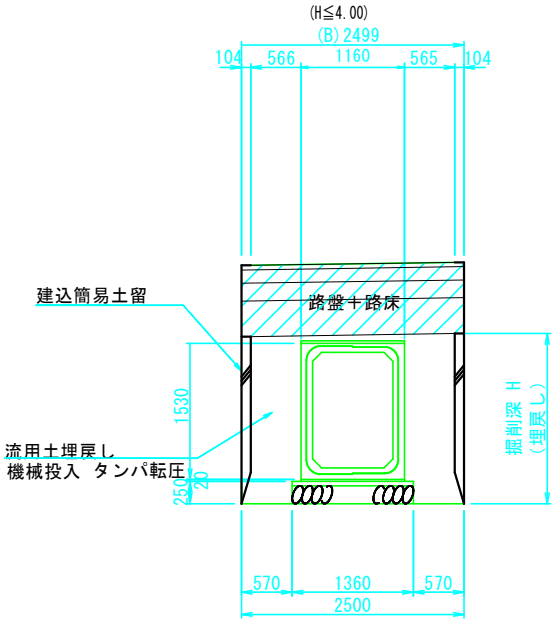


数 量 表

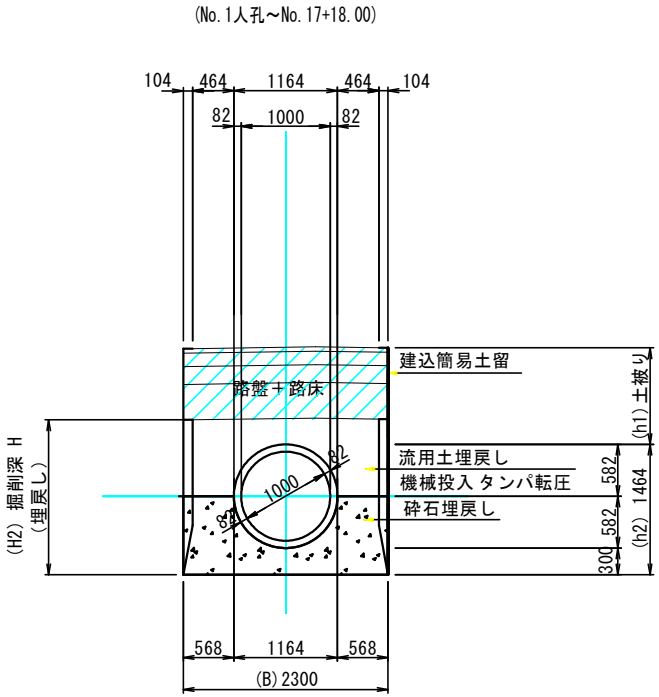
マンホールNo.	マンホール深	3号組立								1号組立															
		底版	管取付壁			斜壁900×1500			床版斜壁	直　壁					斜壁600×900			床版斜壁	調整リング			調整金具		鉄　蓋	調整高
									S	M 1 S					M 1 T			S	C M R					MF1	
		15	210	180	150	60	45	30	19.5	180	120	90	60	30	60	45	30	14.5	15	10	5	45	25		
No.2	2.246	1			1			1									1			2		1		1	56
No.3	2.168	1			1			1									1		1			1		1	28
No.4	2.536	1		1				1									1			2		1		1	46
No.5	2.990	1		1			1							1			1			2		1		1	50
No.6	3.064	1		1				1					1				1		1				1	1	24
No.7	3.096	1		1				1					1				1		1			1		1	56

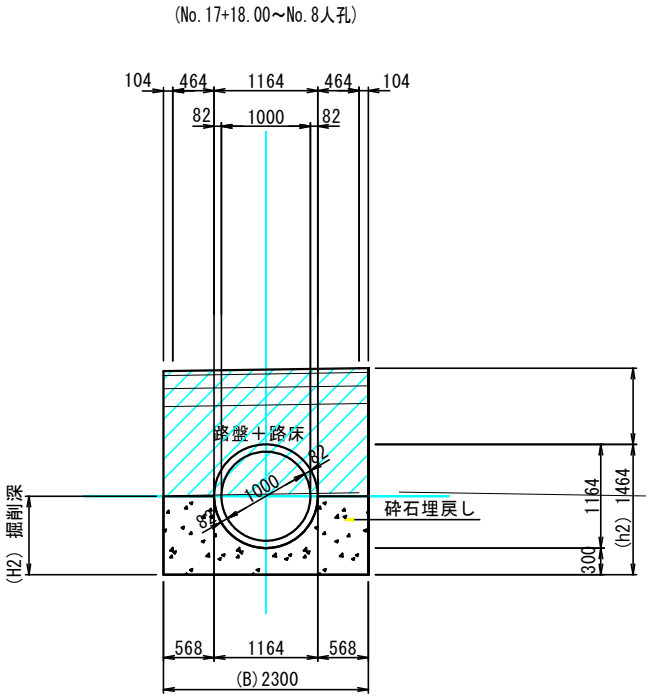
工事名	平成30年度　土田渡雨水支線整備（その２）工事
図面名	３号組立マンホール標準図
縮　尺	1:30
事業者名	可児市　建設部　土木課

土留め土工図 S=1:30



HPφ1000



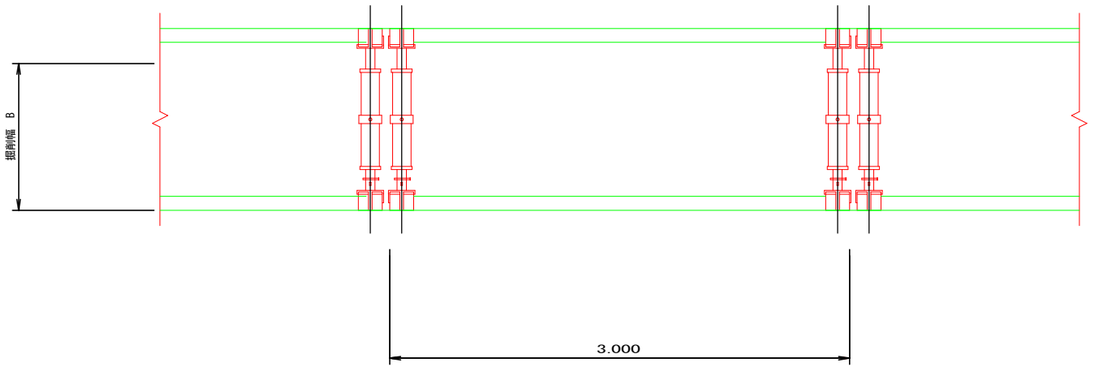


工事名	平成30年度　土田渡雨水支線整備（その２）工事
図面名	土留め土工図
作成年月日	
縮尺	1:30
会社名	
事業者名	可児市　建設部　土木課

土留工標準図 S=1:20

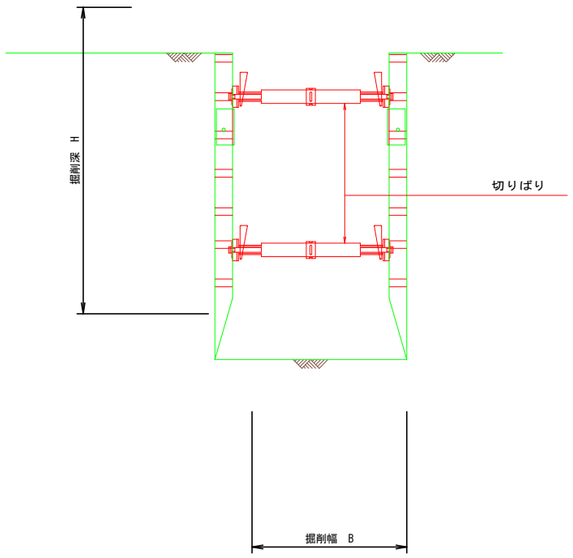
建込簡易土留工
（縦梁プレート方式）

平　面　図

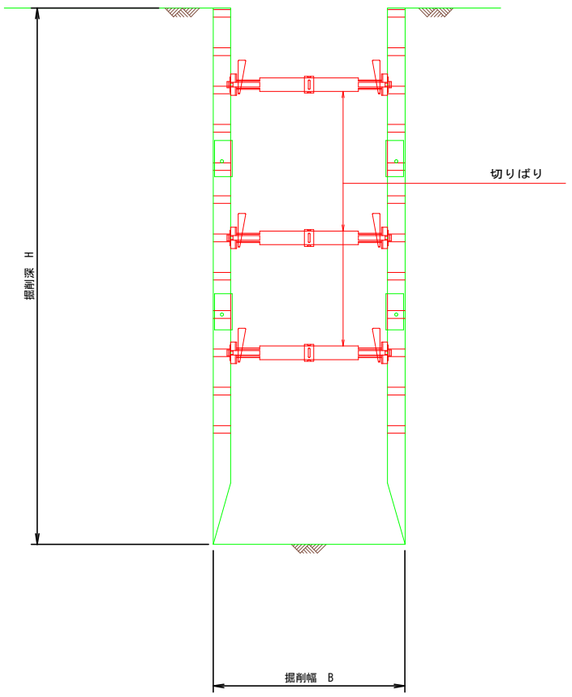


断　面　図

浅　掘　用

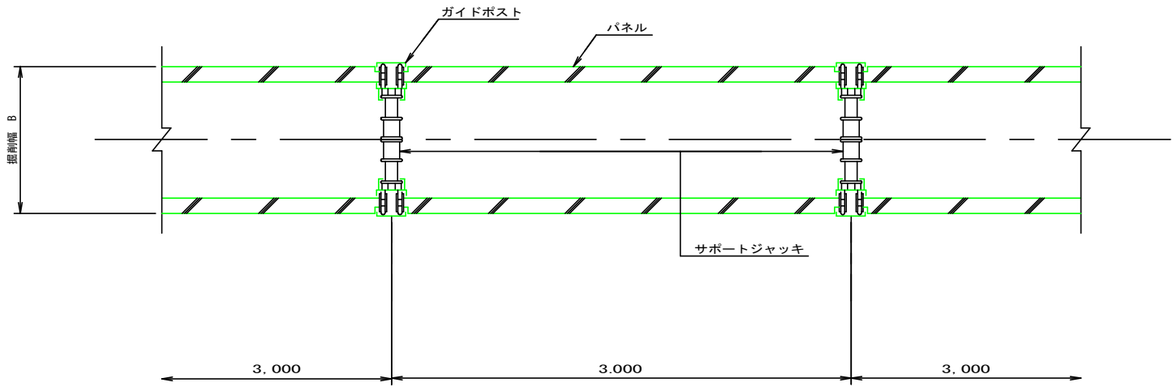


深　掘　用

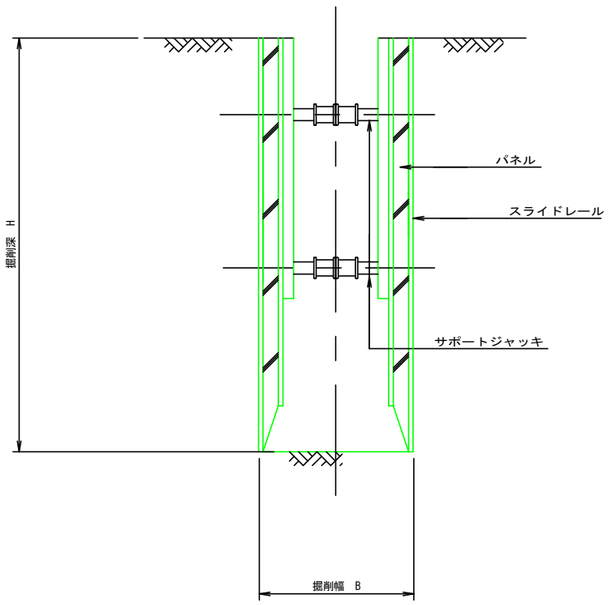


建込簡易土留工
（スライドレール方式）

平　面　図



断　面　図



※ 切梁の位置、段数は深さ、目的によって選定すること。

土留使用区分

掘削深（m）	パネル長(m)
1.00＜H≦1.50	1.50
1.50＜H≦2.00	2.00
2.00＜H≦2.50	2.50
2.50＜H≦3.00	3.00
3.00＜H≦3.50	3.50

工事名	平成30年度　土田渡雨水支線整備（その２）工事
図面名	土留工標準図
縮　尺	1:20
事業者名	可児市　建設部　土木課